

A-cology



Vol.40

2019.10月号

株式会社エービーエム
エコアクション21推進委員会 発行



続々、業務車両エコ替え中!!

エービーエムには業務車両が20台あり、平成30年度の本社と営業所で排出するCO₂はグラフのとおり72,524kg-CO₂となっておりますが、そのうち、車両（ガソリン、軽油、LPG）から排出されるCO₂は47,959kg-CO₂となっており、およそ66%を占めており、エービーエムのCO₂排出量を削減するには、車両のCO₂の削減が絶対必要となっております。昨年12月に本社設備管理課の車両を2台交換（ワゴン-兄弟）し、その翌月には、唯一残っていた軽油車両ハイエースを環境負荷の少ないLPG車に切り替えました。そして、9月には設備管理課の車両と南陽営業所の車両を燃費の良い車両に入れ替え、そして、10月にはついに初のハイブリッド車「アクア」が納車になり、順調にエコ替えが進んでいます。



安全運転で!!

今月のECO目標

いも煮のメはカレーうどんにしよう!

東北の秋の風物詩である、いも煮、山形は牛肉に醤油味が定番ですが、福島、仙台、そして山形でも庄内では、いも煮は豚肉でみそ味です。みそ味も豚汁よりも少し油っこくて好きなのですが、やっぱりいも煮は醤油で牛肉ですよね。そんな芋煮会が開かれるこの時期ですが、これも定番と言ってもらいたいと思いますが、メはうどんですよ。最後の最後まで楽しむことができるのですが、どうしてもおなかいっぱい残ってしまうこともあると思います。昨今、フードロスが話題になっていますので、いも煮の量を少し少なくして、カレーうどんでおなか一杯になるように調整することで、牛肉の量も減らして経費も抑えられますし、フードロスを防ぐことができます。

What's SDGs? 目標2：飢餓をゼロに

経済の急成長と農業生産の拡大により、栄養不良の人の割合はほぼ半減し、かつては飢饉や飢餓に苦しんだ多くの開発途上国は、社会的弱者層の栄養ニーズを満たせるようになってきました。中央アジア、東アジア、ラテンアメリカ・カリブの各地域は、極度の飢餓撲滅に向けて大きな進歩を遂げています。しかし残念ながら、極度の貧困と栄養不良は依然として、多くの国々の発展を妨げる大きな障害となっており、2014年の時点で、環境破壊や干ばつ、生物多様性の損失の直接的結果として、7億9500万人が栄養不良に陥っていると見られています。また、9000万人を超える5歳未満児が低体重です。そしてアフリカでは、今でも4人に1人が空腹のまま眠りについてます。SDGsは、2030年までにあらゆる形態の飢餓と栄養不良に終止符を打ち、子どもや社会的弱者を始めとするすべての人が1年を通じて、栄養のある食料を十分に得られるようにすることを狙いとし、そのためには、小規模農家の生活と能力を向上させ、土地や技術、市場への平等なアクセスを与えることにより、持続可能な農業規範を推進しなければなりません。また、国際協力によりインフラと技術への投資を確保し、農業生産性を改善する必要があります。他のSDGsの目標も同時に達成することで、2030年までに飢餓に終止符を打つことができるのです。



8月度 環境負荷表 (対象：本社及び南陽営業所)

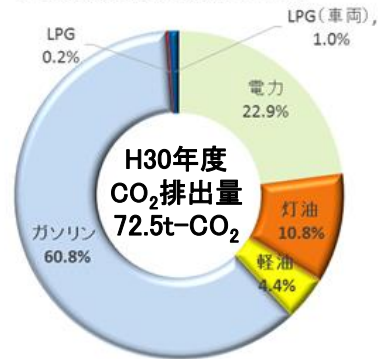
国連開発計画(UNDP)駐日代表事務所HPより引用

本社	購入電力 (kwh)	灯油 (ℓ)	LPG (m3)	ガソリン (ℓ)	LPG (車両) (ℓ)	水使用量 (m)	一般廃棄物排出量 (kg)	産業廃棄物排出量 (kg)	化学物質使用量 (kg)	工品品購入率 (%)
H30	2,172	0	0.2	1,299	-	27	86.1	0	0	91
R.1	2,294	0	0.5	1,625	52	24	73.7	0	0	89
増減	↑	→	↑	↑	-	↓	↓	→	→	↓

営業所	購入電力 (kwh)	灯油 (ℓ)	LPG (m3)	ガソリン (ℓ)	軽油 (ℓ)	水使用量 (m)	一般廃棄物排出量 (kg)	産業廃棄物排出量 (kg)	化学物質使用量 (kg)	工品品購入率 (%)
H30	343	0	0.3	177	-	10	21	0	-	100
R.1	430	0	0.2	182	-	12	16.6	0	-	37
増減	↑	→	↓	↑	-	↑	↓	→	-	↓

【編集後記】さて、今月のエーコロジーはいかがだったでしょうか？今回は社有車エコ替えの特集でした。エービーエムの環境負荷を軽減するには車両のCO₂排出量を抑えることが一番です。今後も車両の入れ替えの際は、エコ替えを進めていただくように、働きかけてまいります。そういえば8月のE1GPでは、くしくも入れ替えになった車が2台入りました。有終の美ですかね。さて今月もエコドライブをお願いいたします。

<二酸化炭素の排出源(H30年度)>



2018-2019
社有車 E-1GP

ついに、この時がきました。これまで2位に甘んじていた、設備管理のワゴン-が絶対王者のデイズを抑え、トップに躍り出ました。しかも、2位とは2kmも差をつけてダントツのトップです。おめでとうございます。また3位には惜しくも今回で車両入れ替えになるワゴン-が入りました。さらに5位には、こちらも入れ替えになった営業所マチが入りました。残暑の厳しかった9月、車両の入れ替えも進み、また勢力図が変わりそうな感じがします。次回も見逃しませんね。

8月	燃費	車種	所属	先月
1位	14.6km	日産ワゴン- (5)	設備管理	2位
2位	12.9km	日産デイズ	業務部	1位
3位	12.5km	スバルサンバー	設備管理	8位
4位	12.4km	トヨタポルツァ	営業	7位
5位	12.2km	日産マチ	南陽営業所	6位